

例会報告

第2146回新年例会報告議事録
日時 22年3月23日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:45点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト: なし

会長挨拶

上村会長



立野幹事が体調が悪いために、星野会員、酒井会員がいつも会場設定をしていただき、本当にありがとうございます。

4月6・7日の旅行の日程表が来ました。20名近くの参加です。楽しみにしています。

この間からの懸案の募金箱ですが、ハイチ地震だとか、クラブで強制しない、個人の募金の時に利用したいと思います。チーバくんの募金箱もありますので、よろしくお願いします。

3月17日に新聞に「交際費ピークの半分」という国税庁の記事が出ていました。

ピークは1992年で6兆2千億円だったそうです。もちろん景気が悪くなった影響で、銀座のママさんも生業がむずかしくなってきたという事だと思います。

全国の260万社の内、約5万社を抽出し、統計的に算出した数字なのだそうですが、営業収入10万円の内のどれだけ交際費を使っているかという平均で227円だそうです。業種別では建設業がトップで、10万円あたり547円です。不動産業は478円、出版印刷業は424円です。

交際費というのは租税特別措置法という所で、課税面で交際費を抑制しようとしています。租税特別措置法なので時の税制の意向により色々上下します。現在はゆるめになっていますが、時限立法なので、これからどう変わるかわかりません。

具体的には、カレンダー、手ぬぐい、うちわ、会議のお茶菓子、弁当等は交際費にあたりません。ただ、会議でビールを出したらどうなるの?という問題には、18年4月からアルコールが入っても一人当たり5千円以下で、誰といつどこで幾ら使ったという事が明記されていれば、交際費には入らなくなりました。

GDPも日本は1990年代のバブル時代には世界で2、3位を争う豊かな国でしたが、現在は20番目以降です。これからは少しでも良くなってほしいなと思います。

親睦委員会報告

野田親睦委員長

4月6日(火)・7日(水)の旅行の大まかな日程表をお配りします。
まだお決めになっていない方は是非よろしくご参加の方お願い致します。

出席報告

米田出席委員長

出席率96.4%

れんげ祭りについて

星野会員

5月8日(土)で大方決定です。昨年同様、凧揚げ大会、豚汁もやります。
役員の方は、昨年携わった方がよいと思います。よろしくお願いします。

広報会報雑誌委員会報告

丸田広報会報雑誌委員長

週報の表紙を見ていただくとわかるのですが、我孫子RC独自のドメインを取得できました。
メールアドレスも取得できますので、会長等にご登録をお願い致します。

分区合同例会について

丸田会員

4月20日に記念コンペと分区合同例会があります。
ホストクラブですので、7時30分にゴルフ場集合でお願い致します。

4月29日(木)の地区協議会への出席の方を、週報に掲載されている方々はお願い致します。どうしても出席できない場合は、代わりの方をご指名いただくようお願い致します。

幹事報告

塩毛会員(代理)



- ・チリ大地震への義援金について
2790地区としては取りまとめはせず、支援したい方が個人的に支援していただくことになりました。我孫子クラブは箱を用意しましたので、各自支援したい方に入れていただき、まとめて振り込みたいと思います。
今後こういう場合は、一律にいくらということはずせず、希望の方が支援していただくという形をとると言う事を前回の理事会で決定しました。
- ・例会変更のお知らせ
 - ・柏RC 3月24日(水) 移動例会(吉野梅郷)のため変更
4月21日(水) → 4月20日合同例会及び親睦ゴルフに変更
 - ・印西RC 3月31日(水) → 13:00~小林牧場 ごみゼロ運動
18:00~夜間例会 場所:高橋食堂
4月14日(水) → 第9分区 6クラブ合同例会
場所:ラディソンホテル成田 点鐘:16:30
4月18日(日)・19日(月) 親睦旅行 山形・上の山温泉
4月21日(水) → 休会 親睦旅行に振替
 - ・我孫子RC 4月6日(火) 家族親睦旅行へ変更 熱川温泉 一泊二日
4月20日(火) 第10分区合同例会及び親睦ゴルフへ変更

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
今井会員	久しぶりに例会に出席できました。	1,000円
米田会員	例会に出席が出来ました。	1,000円
当日計		2,000円
今期累計		302,699円

卓話

星野会員



私は現在、民生委員・児童委員の委嘱を受け民生委員の仕事地域でしております。皆さんもご存じのことと思いますが民生委員は都道府県知事の推薦により厚生労働大臣がこれを委嘱することになっております。
我孫子市には民生委員・児童委員・主任児童委員に委嘱された方々が183名おり、我孫子地区を大きく7地区に分けそれをまた小さな183地区に分け各自が担当しています。私の担当は地元、中峠の一部で270世帯を担当しています。
民生委員としての大事な仕事は、住民の生活状態を必要に応じ適切に把握をしておくこと。

援助を必要としている人に対し、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活に関する相談に応じ、助言その他の援助を行うなどです。

先日、流山市において千葉県民生委員・児童委員協議会が開催した民生委員に対するスキルアップ講習会に参加をいたしました。

その内容は現在、仕事や近隣関係などの様々な要因から、心理的、社会的ストレスを受け、うつ病や軽度の精神疾患を持った方が私たちの周りに多く住んでいます。

このため、これからの地域社会として住民が「心や脳の病」に対する適切な理解のもと、彼らと一緒に地域活動を行い、障害の有無を問わず、誰もが安心して住み暮らすことができる地域社会づくりを目指すと共に、地域における生活支援についても考えていく必要があります。

このようなことから、福祉・保険・医療・教育など地域の関係者とのパイプ役となる民生委員・児童委員が「心や脳の病」に対する適切な知識や接し方を習得することを目的とするものでした。

この講習会には市川市、船橋市、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市より115名の委員が参加し行われました。

講師は流山市にある「西深井地域生活支援センター・すみれ」の施設長熊坂健太郎氏とスタッフの吉沢宗典氏です。支援センター「すみれ」の施設紹介では「すみれ」は地域で生活をしている障害を持つ人たちを対象に「日常生活の支援」「交流活動」「日常的な相談」を行っている他に「地域活動支援」と「相談支援」の二事業を行っているそうです。

「地域活動支援」では「すみれ」は更生中の人たちにとってはアットホームで自由な雰囲気の中にゆったりと過ごせる場所であり、人との交流や生活をサポートするためのプログラムを行うなど無理なく自分のペースにあわせ参加できると話しておりました。

プログラム活動として

- ①昼食会をしている（調理を行い、みんなでクッキングをし、簡単レシピでおいしい家庭料理を作っている。
 - ②SST（普段の生活がうまくいくように、人との付き合い方を考えて練習をしている。
 - ③趣味のサークル（趣味の合う、気の合う仲間と共に行っている（編み物やゲームなど）。
 - ④季節の行事も行っている（日帰り旅行、バーベキュー、餅つき、イベントの開催などを行っています）。
- 「相談支援」では精神保健福祉士と社会福祉士の相談員が地域で生活していく中での、様々な悩みを持った方々の相談をうけたり、関係機関との調整を行い地域での生活をサポートしているそうです。

次に、病気・障害を持ち現在更生中の二人の女性の体験談発表がありました。

- ①「うつ病になった38歳女性の体験談」です。二人の子供を持つ女性、ある時不眠が続くようになり普段行ってきたごく当たり前のことが出来なくなり、人との付き合いも嫌になった。これではと思い病院に行った。その病院では睡眠薬を出してくれたが病名は分からなかった。その後、病院を転々と周り5件目の病院で「うつ病」だから市川にある精神病院に入るよう勧められ入院をした。時間がたつにつれ、自分が精神病院に入院していることがだんだんと世間に知れ渡り、子供や家族につらい思いをさせたり、周囲の偏見などから夫と離婚をせざるをえなくなり離婚をしてしまった。今では寂しい思いをしながら一人で自立をしようと頑張っております。

- ②「統合失調症の31歳女性の体験談」より

私が20歳のころ、夜眠れなくなり睡眠薬を飲んだり、お酒を飲んだりして眠ろうとしても眠れない日が続き、友達との付き合いも嫌になり一人で閉じこもるようになってしまった。その後、病院を転々とした後、精神病院に入り数年間デイケアなどリハビリを受けたら、体調も良くなりアルバイトの仕事にもつけアルバイト先の人と結婚もでき幸せだった。楽しい日が続いたある日、突然前と同じように体調を崩し病院の入退院を繰り返すこととなり離婚もしてしまった。その後時間もたち今では体調も元に戻りつつあります。自分の意志で立ち直ろうとがんばっています。皆さん方をお願いしたいことがあります。それは、私たちのように病気になった人に対し心から接していただきたいと思っています。よろしく願いいたします。と話しておられました。

以上2件の体験談から、私たち民生委員は

- ①障害者の味方であること。
- ②心を通わせる会話をする（相手の気持ちを十分くむこと）
- ③民生委員・児童委員はカウンセラーではないので、あまり踏み込まない。
- ④安心感を持たせるようなアドバイスを。
- ⑤障害者が何を言おうとしているのか内容をしっかりつかみ、話を不用意にこちらの話し方で進めないこと。
- ⑥対応に困った時は身近な人やセンター等に相談する。

など人格障害者・発達障害者の人たちに対しては、できるだけ多くの「ものさし」をもって対応していくことが必要であることを学びました。

皆様方におかれましても病気・障害を持つ人と接する機会があるかと思います。その時には是非、相手の気持ちをくんで心ある接し方をお願いしたいと思います。以上で終わります。



尾上会員・小野会員・白石会員



酒井会員・湯下会員・高島会員



宮本会員・渋谷会員・星野会員



例会風景